



東北大学

報道機関各位

2012年 1月 5日
東北大学大学院生命科学研究科
生態適応グローバルCOE

市民公開シンポジウム「大津波で被害を受けた沿岸域の生物
多様性の現状」 開催のご案内

<概要>

東日本大震災と津波は東北沿岸域の生態系にどのような影響を及ぼしたのか、海洋・水産・生態の専門家が調査を行っています。本シンポジウムでは明日の東北を考えるために、専門家による沿岸生態系の調査結果や現状を紹介します。興味のある方の参加をお待ちしています。

東北沿岸生態連絡会 市民公開シンポジウム「大津波で被害を受けた沿岸域の生物多様性の現状」

日時：2月5日 午後1時30分～4時30分

場所：仙台国際センター 萩ホール

参加費：無料

参加申込：Web または Fax で参加申込してください。（定員 250名）

①Web <http://gema.biology.tohoku.ac.jp/coast/> よりお申し込みください。

②Fax 022-795-3638 まで、氏名・所属・同行者人数を明記してお送りください。

* 開会挨拶 飯島 敏夫（東北大・研究担当理事）

* 趣旨説明 占部 城太郎（東北大・生命科学、東北沿岸生態連絡会幹事）

* 南三陸から仙台湾にかけての干潟環境の変化と底生動物への影響
鈴木 孝男（東北大・生命科学）

* 蒲生潟における地形・環境の変化と底生生物への影響評価
金谷 弦（国立環境研）

* 万石浦、松島湾、松川浦のアサリと二枚貝の現状
大越 健嗣（東邦大・理）

* 志津川湾浅海域における藻場環境の変化と再生過程
吾妻 行雄・遠藤 光・青木 優和（東北大・農）

～休憩～（10分）

* 地盤沈下が潮間帯付着生物相に及ぼした変化とその後の遷移（岩手県越喜来湾の場合）

加戸 隆介（北里大・海洋）

* 津波による大槌湾生態系の変化と回復過程

津田 敦、永田 俊、河村 知彦、福田 秀樹（東大・大気海洋研）

* 総合討論

コメンテーター 仲岡 雅裕（北大・厚岸臨海）

高見 秀輝（水産総合研究センター・東北区水研）

* おわりに

中静 透（東北大・生命科学）

司会進行 大越 和加（東北大・農）・松政 正俊（岩手医科大）

（お問い合わせ・取材等のお申し込み先）

東北大学生命科学研究科 生態適応グローバル COE 内
東北沿岸生態連絡会事務局

占部 城太郎 教授

岩渕 翼

022-795-3637

iwabuchi@m.tohoku.ac.jp